



軒の浦学園だより



No.22

2021年(令和3年)3月4日

大きくなったら、レストランのシェフになりたい! ～安心して学ぶことができる共感・支持的文化～

3月に入りました。寒暖の差が大きく体調に気を付けたいものです。

先日、2年生が将来の夢や目標について学習をしました。その時、次のような夢や目標が発表されました。

ケーキ屋さん、パン屋さん、ペットトリマー、サッカー選手、恐竜博士・・・

習字で特待生をとる、家族を幸せにする、50m走7秒台・・・

やりとりの一部を紹介します。

A:「レストランのシェフになりたい。だから、おいしいものをいっぱい食べる。」

B:「え～! A君がおいしいものを食べるの?」

C:「でも、料理を作る前にシェフがおいしいものを食べないと、おいしいものを作れんよ!」

D:「なるほど～、おもしろいね!」「いいね!」

E:「大工さんになりたい。飛行機をつくってみたい。お米を育てたい。」

F:「大工さん、かっこいいね!」「すごいな～。」

G:「将来、韓国で暮らしたい。そのために、韓国語を勉強する。」

H:「なんで韓国なん?」

G:「韓国に行ってみたくから、韓国で暮らしたいんよ。」

I:「まだ、子どもじゃけえ、今はむずかしいね～。」

J:「コロナが終わってからが、いいんじゃない?」

K:「いっぱいお金を稼がんとね。」・・・



「すごいな～」とか「いいね!」などの声が出ているところがすごい。そして、友達達の夢や目標に対し応援したりアドバイスをしたりしています。この土台には、担任と子ども達、子ども達同士の信頼関係があるので、みんな安心して思いや考えを出すことができます。

学びの基盤には、やらされる活動ではなく自ら取り組む主体性と責任感、そして人との間違いや失敗を責めることなく安心して学ぶことができる共感・支持的文化、さらに学びたくなる環境が必要だと思っています。基盤を大切にしながら、互いに認め合い、学び合い、感謝し合う心が人を育てます。



子ども達へ安心、食の楽しさを届ける!



給食技術員の小川先生と本多先生、そして緊急要員として本学園の給食業務に携わってくださっている佐藤先生、磯崎先生が、「子ども達に、食の安全だけでなく、食の楽しさも感じてほしい!」と、毎月牛乳一つ一つにつけてくださった季節を感じさせる折り紙。1年間、子ども達の体だけでなく、心まで育ててもらえたことに心より感謝です。教室のドアや掲示板などいたるところに、大切に貼ってある場面もとてもほほえましいです。



子ども達から

- 毎日おいしい給食をありがとうございます。4時間目が終わるといつも嬉しい気持ちになります。給食の時間が大好きで、「早く給食にならないかな～」と思っています。
- 毎日メニューを見て、給食を楽しみに学校に来ています。給食を食べると元気が出ます!
- ぼくは、学校で出てくる給食は無限に食べられると思うくらい大好きです。特にカレーやマーボー豆腐は、本当に最高です!これからもおいしい給食を作ってください。
- 毎月牛乳についているかわいらしい折り紙、楽しみにしています。朝早くから一つ一つ丁寧に作ってくださっていると聞き、本当に感謝しています!ありがとうございます!